

東京都議会議員 神林 茂  
〒144-0034 大田区西糀谷 4-16-17  
Tel : 5735-3150 / Fax : 5735-3151

# 神林レポート No.63



## 羽田空港への思い

いつの頃からだったでしょうか。空港に飛行機を見に行ったり、町の賑わいや祭りの風情が楽しい思い出として記憶に残されたのは。そして、毎日のジェット機の轟音が脳裏に深く刻み込まれたのも。良かれ悪しかれ空港と共に歩む町に私たちは暮らしています。

区議会議員に初めて立候補する時に、母親が、現在の空港敷地内にあった鈴木町の出身であり、戦後四八時間の強制退去を余儀なくさせられたことを知りました。その時、空港問題が

平成十八年一月吉日



## チャレンジ！東京刷新！

更にしっかりと私のライフワークとして位置付けられました。『空港の発展と共に地元大田区を少しでも良くしていきたい』という思いを胸に秘めて。

まずは、A滑走路を都心に向かって離陸した飛行機が左に急旋回して大田区市街地上空を飛ぶ(左旋回)飛行コースを廃止すること。しかし、国土交通省が、慢性的な過不足となっている朝のピーク時における離発着枠をそう簡単に廃止するわけがない。ならば、一歩譲っても、離発着枠の大幅な増加が見込まれる二〇〇九年十二月のD滑走路完成の際には、何としても廃止に持ち込みたい。

次に空港が国際化されるとほぼ同時に、二四時間の貨物輸送も可能となり、空港用地の市街地側には五三へクタール程度の空港跡地が創出する。空港の国際化や二四時間貨物などを、地元産業の活性化に結び付けていきたい。跡地には、水辺や緑の環境を整えて、産業や人の賑わいの場を取り込みたい。京急蒲田とJR蒲田を鉄道で結んで、空港と大田区の交通網を整備する必要がある。その他にもまだまだ数え切れないほどの課題や夢がたくさん詰まっている。

そして、これらの課題を実現していくには、一人でどんなにパフォーマンスを行なっても、国土交通省や東京都

の大きな岩は動かない。地元住民や産業界、大田区や区議会が一つの方針をもって、一致団結していくことが必要です。

私は今まで地元や産業界の方々との議論を交わしてきたことだろうか。区議会壇上で何度質問して提案を繰り返してきただろうか。国土交通省や東京都に幾度の要請を行っただろうか。そして今まさに空港が国際化され跡地が創出するこれからが、最も地元地域や大田区が大きく生まれ変わる可能性をもった時期であります。



私はこうした積年の思いを込めて、早春の東京都議会本会議場で、石原都政に『羽田空港への思い』を質していく。

『東京都議会議員 神林茂君を励ます会』

『藍綬褒章受賞祝賀会』

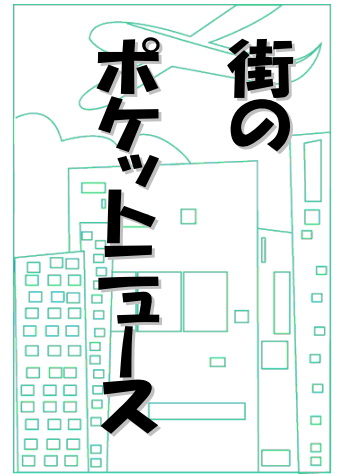
平成18年3月24日(金)

開場：午後6時／開会：午後6時30分

大田区産業プラザ(PIO)

1階大展示ホール(全席椅子席用意)

※お申込・詳細につきましては、お近くの役員さんか、神林茂事務所(Tel.5735-3150)までお願いいたします。



荏原病院と

大森赤十字病院は

どうなるの？



昨今、「都立荏原病院」と「大森赤十字病院」が移転してしまうとか、改変されてしまうという噂を聞いて、心配されている方も多いのではないのでしょうか。ご安心下さい、基本は従来通りの地域医療が提供されることとなります。

まず、荏原病院は、今年の四月に(財)東京都保険医療公社 荏原病院として新たにスタートします。この新荏原病院には、従来の診療科が全て継続された上で、①救急医療をより強化する②脳卒中医療を充実させる(脳卒中専門病床)③がん治療に一層積極的に取り組む(リニアックを導入した放射線治療)などが新設されます。

次に、老朽化した大森赤十字病院は、地上六階、地下二階、(駐車場一〇〇台程度)、病床数三二五床の病院に改築されます。改築にあたっては、地域の中

核的医療機関として二四時間三六五日対応の救急医療が実施され、高齢者医療にも重点診療する体制整備が図られます。

その他にも、大規模災害時における救護体制の整備や、病院システムIT化や情報提供による患者サービスの向上などが図られることとなります。

旧北蒲小と

旧蓮沼小が

リニューアル!



旧北蒲小が今年の十月から、旧蓮沼小が来年の四月から、地元の拠点となる区民利用施設としてオープン致します。

旧北蒲小では、体育館とグラウンドは地域のイベントやスポーツ活動に、教室は多目的教室として区民が利用する施設として活用されます。また、この施設の特徴として、旧校舍棟が新産業の創出や新技術開発支援を行なう研究開発オフィスとして活用され、蒲田消防団第一分団本部と保護司会施設も設置されます。

また、蓮沼小では、体育館、校舎棟、グラウンドが旧北蒲小と同様に、地元の区民利用施設として活用される他、子育て支援のための学童保育施設、職障害者のための就労対策施設、老人

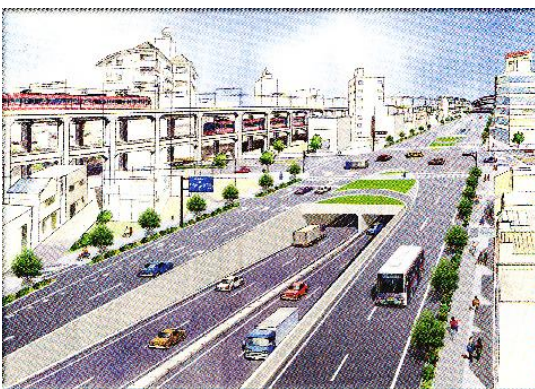
医療の点検室、在宅精神障害者を支援する協同作業所、矢口消防団の会議室や郷土博物館倉庫などが設置される予定となっています。

京急線立体交差事業が

少し遅れています

京急蒲田駅付近の立体交差事業は、従来よりお伝えしている通り、京急線が高架、環八が平面、第一京浜国道が地下で、工事が進められています。

ところが、京急線高架化に必要な用地買収が遅れているため、今年三月に予定されていた環八仮立体工事完成が一年から二年程度延期となりました。但し、高架化工事全体の完了は平成二四年度末と変更されていません。一日も早い完成を目指して強力に要請してまいります。



京急蒲田駅付近立体交差完成予想図

高齢化社会と地域活性化のために

がんばれ!  
地元商店街



大田区の寿祝金として米寿の方には一万円、その他の該当年齢の方には五千円の区内共通商品券を支給することを提案させていただきました。実現致しました。

都議会自民党の予算要望から



平成 18 年度東京都予算編成に対して、歳出削減と財源確保に全力をあげると共に、景気回復の流れを損なうことのないよう、都知事に要望を致しました。(右に一部を抜粋)

- ・障害者自立支援法による障害者負担金の激変緩和(都独自事業)
- ・公立小学校に防犯カメラの設置
- ・固定資産税・都市計画税の減免措置の継続
- ・私立幼稚園児の保護者負担の軽減